

IT時事ネタキーワード「これが気になる!」(第11回)

## 身近になるVR。小さい企業もビジネスにできるか

2017.03.07

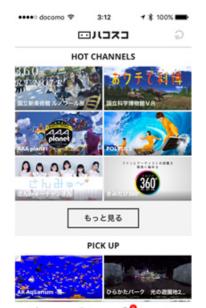


VR(Facebookが2014年に買収)の「Oculus」や、ソニーの「PlayStation VR

」、HTCの「Vive」など、ヘッドマウントディスプレーを備えたコンシューマー向けVRシステムが大人気だ。スマートフォン(ス マホ)を利用した気軽なVRも盛り上がり、2016年はVR元年といわれた。現在も勢いは衰えない。「VRで部屋を内覧」「観光 名所のVR体験」など、VRビジネスも盛んだ。実際に体験するより安価かつ安全。場所や時間の縛りがない、また好きにカス タマイズもできるといった自由度の高いVR。中小企業もビジネスに利用しない手はない。

## VRの歴史は50年。一気に身近に

VRとは、バーチャルリアリティー(virtual reality)の略で、ユーザーの五感を含む感覚を刺激して、理工学的にあたかも現実 のような状態をつくり出す技術やシステムを指す。仮想現実とも呼ばれる。



ハースコは国内サービスが故に、身近なアーティストや施設のコンテンツが豊富

VRといえば、ヘッドマウントディスプレーを装着してコンピューターでつくり出されたサイバースペースを歩き回る近未来を 想像しがちだが、歴史は意外にも長い。バーチャルリアリティーは1989年にできた言葉だが、仮想空間に没入できるVRで 不可欠なヘッドマウントディスプレーが作られたのはなんと1964年だ。イベントや遊園地、ゲームセンターなどで、映像はも



ちろん、立体音響、風や香り、イスやハンドルの振動、本体そのものの動きなどもVRの一種。こうした仕掛けは子どもの頃か ら普通に味わってきただろう。

2016年末に発売されたPlayStation VRは発売後すぐに売り切れ、現在も品切れ状態だ。こうしたコンシューマー向けVRシス テムが大人気な一方、スマホを使って楽しめる手軽なVR、「スマホVR」もある。ビューアーにスマホを挿して見る。Googleの「 Google VR」では、数百円から買える「Cardboard」という紙素材のビューアーで、豊富なVRコンテンツを楽しめる。同じく「ハ コスコ」も紙素材のビューアーだ。



、1000円ちょっとで手軽にVRが味わえる

触感を再現する技術も… 続きを読む